



# 中之島 環境ビジョン

～ 中之島が先導し世界に発信する環境まちづくり～



エコスクエア  
中之島eco2連絡協議会

## はじめに

### 都市部における環境への取組みと、日本における環境まちづくりの世界への発信

わが国では全人口の約 80%が都市部に集中し、多様な都市活動が展開されている。大都市においては、その大きな経済活動に伴い、人口が集中し交通乗入れもあり、エネルギー消費が大きい。さらに、都市開発が進むことで、残っている自然も失われかねないという状況にある。

そこで、都市部の環境を改善し環境性を向上させ低炭素社会を実現させる環境まちづくりは、重要な取組みとなる。なお、このような取組みは、環境対策技術等のハード面はもちろんのこと、環境に関するライフスタイルづくりやマネジメントシステムづくりといった都市環境の質を高めるソフト面も含むことで、地域に根づき、かつ十分に効果を上げるものとなる。

また、先に述べた問題は世界の大都市に共通したものである上に、現代においては地球レベルの環境問題がクローズアップされていることから、日本は、これまで培ってきた環境技術の活用を図りながら世界を先導する取組みを展開していこうとしている。

そこで、都市における環境まちづくりを実践するとともに、広く世界に発信し、世界の環境改善に貢献していくことも重要となる。

### なぜ、中之島か

中之島は、江戸時代には全国諸藩の蔵屋敷が置かれており、全国の物資が集積されて「天下の台所」と言われ、当時の日本の代表的な経済の中心地となっていた。明治期以降、その機能は徐々に変化しているが、現在でも西日本の経済の中心地であり、わが国屈指の活発な都市活動が展開されている場所である。そのため、環境まちづくりの必要性も大きい。

また、中之島は二つの河川に挟まれた土地であって広い公園を有しており、わが国でも屈指の緑と水に恵まれた都心部である。日本の大都市ではヒートアイランド現象が大きな課題になっており、中でも大阪は日本一熱い都市だと言われているが、中之島ではヒートアイランド現象の緩和に対する高いポテンシャルを有するため、取組み方策を先導的に進めることができる。

さらに、これらの河川や公園では、普段から市民が都心部でも自然に親しむことができるよう親水空間を整備しており、自然を感じ、五感を通じて環境に思いを巡らせるための素地があり、その機会も多い。

中之島は、国により「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」に指定される等、環境性の高い地域として認められており、民間企業においては環境共生ビルの整備をはじめとする環境にやさしい開発が進められ、公共事業においても中之島線などの公共交通や公園、遊歩道が整備されるなど、環境意識が非常に高い地区であり、低炭素社会に向けた先導的な取組みを行う素地も整っている。

このような立地特性やポテンシャルを有する中之島において、日本の環境まちづくりを先導し世界に発信する取組みを実践するための指針として「中之島 環境ビジョン」を策定する。

### 「中之島 環境ビジョン」の展開

「中之島 環境ビジョン」は、中之島に住み、働き、訪れる人々の主体的な取組みと協働によって実現されるものである。そのためには、まずはビジョンの基本理念、取組み内容等に対する関係者の理解や協力を得ることから活動を始めることとする。

そこでこのビジョンでは、まず中之島での取組み実績を整理し、そこから中之島が向かうべき方向性を明確にしている。今後も、新たなまちづくりの進展、環境に関する新技術の展開といった取組みの実践をしながら、中之島の関係者が着実に取り組んでいくための「成長を続けるビジョン」として、深化を進めていく。



# 中之島 環境ビジョン

～中之島が先導し世界に発信する環境まちづくり～

## 【目 次】

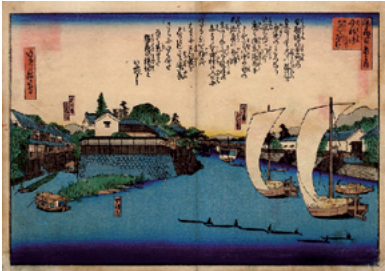
1. 中之島の概要	1
2. 「中之島 環境ビジョン」の基本理念と取組み方針	3
3. 各分野における取組み内容	5
3-1 エネルギーに関する取組み内容	5
3-2 交通に関する取組み内容	7
3-3 緑・水に関する取組み内容	9
3-4 ライフスタイルに関する取組み内容	11
3-5 マネジメントに関する取組み内容	13
4. 環境まちづくりにより期待される効果	15

# 1. 中之島の概要

## ■ 歴史

### 江戸時代

江戸時代には諸藩の蔵屋敷が集積して「天下の台所」と言われ、わが国の経済の中心として栄えた。



中之島を臨む

(出典: 大阪市立中央図書館所蔵「写真浪華百景」)

### 明治～昭和初期

明治以後は蔵屋敷の払下げ等で官公庁、学校、病院等が建てられて発展し、商都大阪の文化・情報発信地となった。



大阪市の中枢部

### 戦後

戦後、まちのにぎわいはキタやミナミに移行しつつも、大阪の政治・経済の中心地としての役割を担い続けている。



大阪市中央公会堂

(提供: 大阪市)

## ■ 立地特性

### ～世界でも屈指の水環境を有する都心中枢地区～

- ・ 中之島は、堂島川と土佐堀川に囲まれた東西約3kmの中洲である。
- ・ 島には、東部に大阪市役所や中之島公園をはじめとする公共公益施設が、中央部にわが国を代表する企業の業務施設が集積している。中央部から西部にかけては、業務施設に加えて文化・交流施設が多く、さらに今後も新たな整備が進められる予定になっている。
- ・ 大ブロックで区画された敷地構成となっており、大ブロックの一体的な開発が可能である。
- ・ わが国を代表する大都市都心における水辺景観が創出されており、川沿いでは遊歩道やにぎわい施設などの整備が進んでいる。



・地区面積	: 約 50ha
・施設床面積	: 約 100 万㎡
・利用可能容積	: 約 190 万㎡
・昼間人口	: 約 35,000 人
・夜間人口	: 約 750 人
(2006 年時点)	





## ■ 中之島の位置づけ

### ■ 大阪市による位置づけ

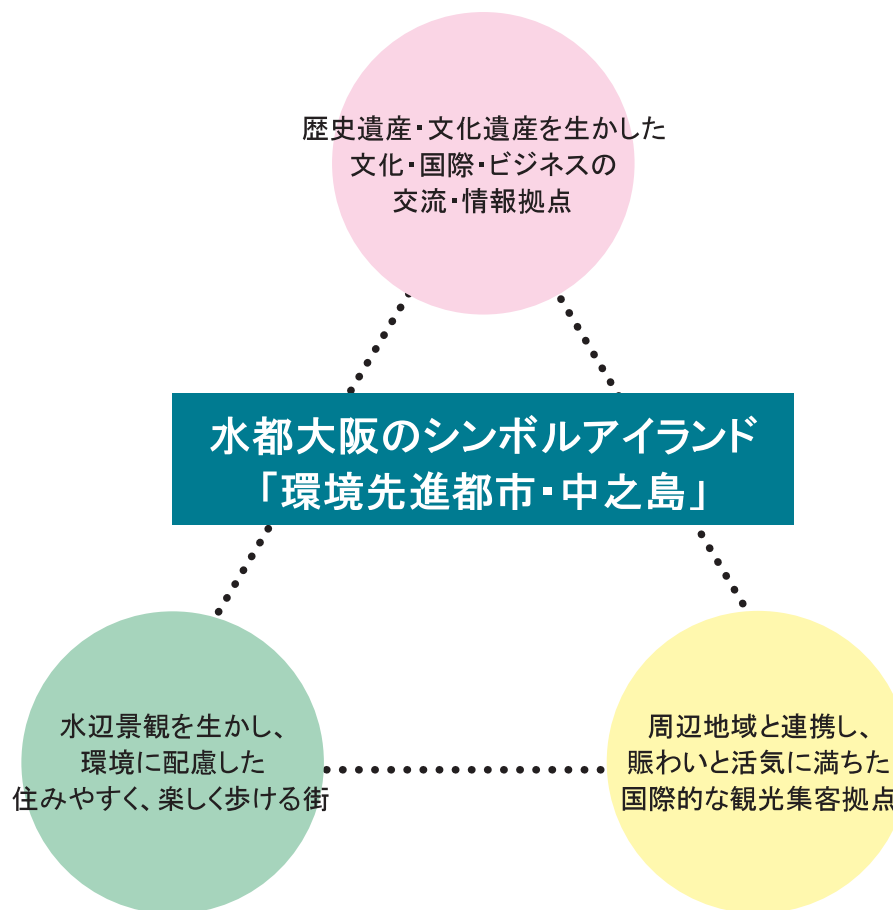
(大阪市『「元気な大阪」をめざす政策推進ビジョン』(2009年3月)より)

## 水辺の文化都心・中之島

「海の御堂筋」構想 ～御堂筋に匹敵する水を中心とした東西方向のシンボル軸の形成～

### ■ 中之島まちみらい協議会(\*)による位置づけ

(中之島まちみらい協議会『大阪 中之島 都市ビジョン』(2005年12月)より)



(\*) 中之島のさらなる発展、活性化を目指して地区内の地権者企業等で形成する協議会



## 【環境ビジョン】の策定

- 世界へ発信する、わが国を代表する環境先進都市へ
- 環境まちづくりを推進し、より魅力のあるまちへ

## 2. 「中之島 環境ビジョン」の基本理念と取り組み方針

### ■ 「大阪 中之島の都市ビジョン」(2005年12月)の概要

#### 水都大阪のシンボルアイランド「環境先進都市・中之島」

- ・ 歴史資産・文化遺産を生かした文化・国際・ビジネスの交流・情報拠点
- ・ 周辺地域と連携し、賑わいと活気に満ちた国際的な観光集客拠点
- ・ 水辺景観を生かし、環境に配慮した住みやすく、楽しく歩けるまち

### ■ 「中之島 環境ビジョン」の基本理念

#### ～ 環境先進都市・中之島としての取り組みの実践 ～

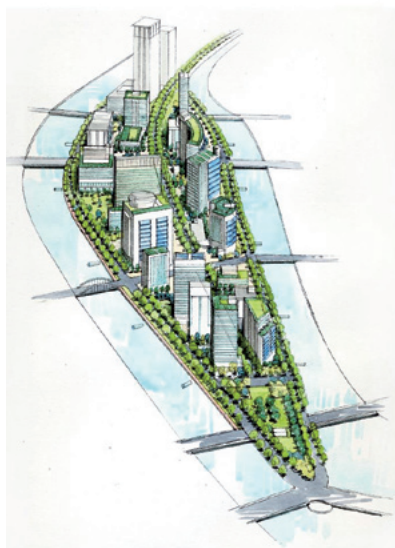
- ・ 中之島の環境面のポテンシャル、各種環境対策の効果等について、中之島に関わる産・学・官・民すべてが環境意識を共有し、環境まちづくりを実践していく。
- ・ 建物、街区、そして中之島というまち全体というそれぞれのレベルで、「低炭素化」「クールシティ」「ライフスタイル」「マネジメント」等をキーワードとした取り組みを実施する。
- ・ 環境に配慮した社会システムづくりやライフスタイルの転換を促すことにより、一人ひとりが、中之島についての環境意識を高めていく。
- ・ 水都大阪のシンボルアイランドとして、また環境先進都市として、中之島情報を広く発信する。

#### 建物から街区へ、街区からまちへの、実践の広がり

個々の「建物」単位での取り組みを出発点とする。しかし、都市における環境問題は、個別対策だけではなかなか成果が現れないという問題がある。

建物単位から「街区」単位へと取り組みを広げる。個別には取り組み得ない対策も行うことで、単なる個別対策の集積にとどまらない大きな効果を得る。

さらに中之島では、街区単位にとどまらず、中之島全体の「まち」レベルにおいて、産・学・官・民すべての関係者により環境まちづくりを実践していく。



#### エネルギー

個々の省エネ・省CO<sub>2</sub>対策から、ネットワーク化、マネジメントへ

#### 交通

個人・乗物単位から、ネットワーク化、システム構築へ

#### 緑・水

点から面、ネットワーク化へ

#### ライフスタイル

個人レベルから、まちとしての活動へ

#### マネジメント

個人・企業レベルから、まち全体のシステム・マネジメント活動へ

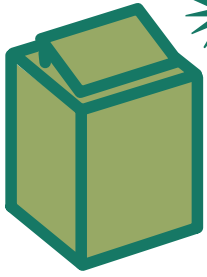
中之島における環境まちづくりの目標



## ■ 基本理念の実現に向けた取組み方針

取組みメニュー		建物単位	街区単位	中之島全体	目標
エネルギー	省エネ・省CO <sub>2</sub>	高効率機器の導入			活用都市の実現 低炭素エネルギー
	再生可能エネルギーの活用	自然エネルギーの活用			
		面的エネルギー利用			
		河川水熱利用			
交通	公共交通・自転車・徒歩の利用促進	エコ通勤の奨励			交通システムの構築 低炭素型の
		公共交通の利用促進			
		魅力的な歩行者空間等の創出			
		コミュニティサイクルの導入			
	低炭素交通の導入	電気自動車等の導入			
		電気自動車のシェアリング（カーシェアリング）			
緑・水	緑	屋上・壁面・敷地内の緑化			クールシティの実現 緑と水の豊かな空間形成による
		街区の一体的な緑化			
		緑のネットワーク化			
	水	保水性建材、ドライ型ミスト散布			
		保水性舗装の導入 大規模ミスト散布			
		水辺空間・親水空間の創出			
		風の道の形成			
ライフスタイル	ごみの減量化・リサイクル	ごみの減量化やリサイクル等の推進			実践の場づくり 環境まちづくりの
	啓発活動	環境意識の醸成と環境に配慮したライフスタイルの提案			
	感覚環境	感覚環境の整備による中之島の歴史・文化・環境活動等の情報発信			
マネジメント	マネジメントシステムの構築	ビル運用マネジメント			メントシステムづくり 環境に配慮したマネジ
		ビルエネルギーマネジメントシステム（BEMS）の導入			
		街区でのエネルギーマネジメント			
		プラットフォームとなる組織づくり（TEMS、PDCAサイクル）			

### 3. 各分野における取組み内容



3-1

エネルギーに関する取組み内容

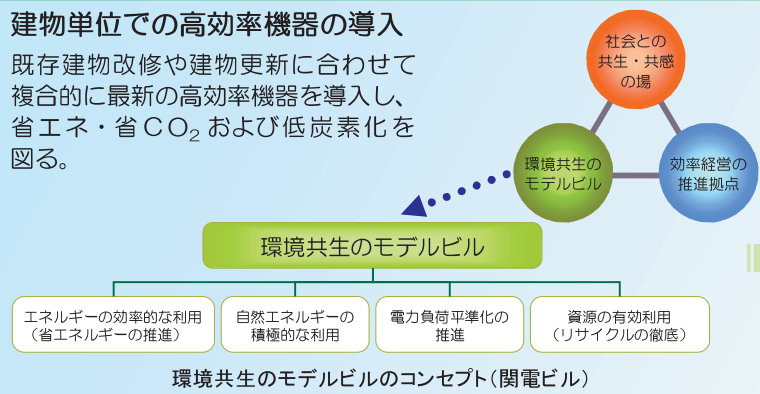
低炭素エネルギー活用都市の実現

建物単位においては、  
建物建設時には環境性評価を行いつつ、  
複合的に最新高効率機器を導入することにより  
省エネ・省CO<sub>2</sub>の推進、再生可能エネルギー  
の活用により低炭素化を図る。

#### 建物単位での取組み

##### 建物単位での高効率機器の導入

既存建物改修や建物更新に合わせて複合的に最新の高効率機器を導入し、省エネ・省CO<sub>2</sub>および低炭素化を図る。



環境共生のモデルビルのコンセプト(関電ビル)

省エネ・省CO<sub>2</sub>

##### 建物単位での自然エネルギーの活用

建物の屋上や壁面などに太陽光発電パネルを積極的に導入すると共に、海からの風の通り道である中之島という立地特性を活かした自然換気等を推進する。



屋上・壁面の太陽光発電(関電ビル)

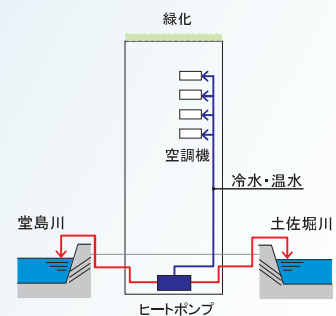
再生可能エネルギーの活用

##### 建物単位での河川水熱利用

中之島の恵まれた水環境のもとで、河川水の温度差などの未利用エネルギーを最大限活用した低炭素型の環境先進ビルを実現する。



取水口  
(京阪電鉄中之島線)



河川水の未利用エネルギー利用



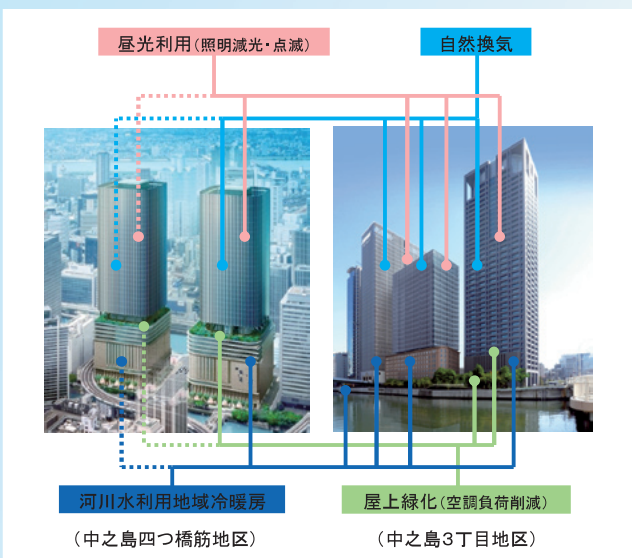
街区単位においては、中之島の恵まれた立地環境のもとで、河川水・地下水・太陽光などの再生可能エネルギーを最大限活用するとともに、街区単位での面的なエネルギー利用により低炭素型の街区を実現する。

中之島全体においては、建物単位でのエネルギーの効率利用、省エネ・省CO<sub>2</sub>に加え、中之島全体での再生可能エネルギーの活用や、高層ビルが集積していることを活かした地域冷暖房、熱融通をはじめとするネットワークによる効果的な熱エネルギー配分により、低炭素化を推進する。

### 街区単位での取組み

#### 街区での一体的な自然エネルギーの活用と面的エネルギー利用

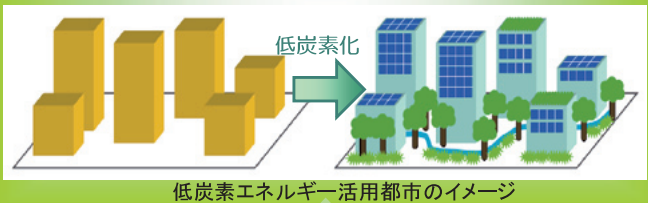
建物単位での省エネ・省CO<sub>2</sub>の取組みに加え、面的なエネルギー利用、風の道を活かした街区形成を行うとともに、街区の立地特性に応じた自然エネルギーの一体的な活用、BEMS ネットワーク化などの取組みを推進する。



### 中之島全体での取組み

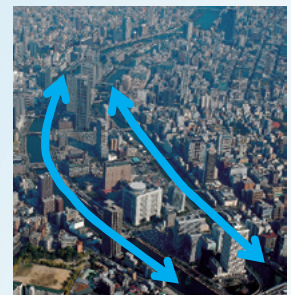
#### ～低炭素エネルギー活用都市の実現～

建物単位・街区単位・中之島全体における徹底的な省エネ・省CO<sub>2</sub>の推進と、再生可能エネルギーの活用等の低炭素エネルギーへのシフトによって、中長期目標として、低炭素ビルの集積としての低炭素エネルギー活用都市をめざす。



#### 中之島全体での一体的な再生可能エネルギーや風の道の活用

中長期的取組みとして、個々の建物の受光面積を最大化して太陽光を最大限活用する、海からの風が最大限通り抜け易くする、といったことを開発時に考慮する。

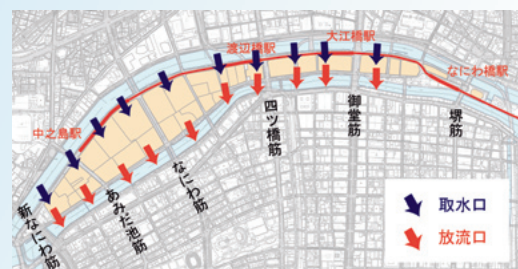


#### 街区でのネットワークによる河川水熱の面的利用

高層ビルが集積しているという中之島の特性を活かし、街区単位での河川水熱利用による地域冷暖房、熱融通をはじめとするエネルギーのネットワーク化を推進する。

#### 中之島全体でのネットワークによる効率的な河川水熱の面的利用

オフィスビル・アメニティ施設・文化施設といった異なる用途の施設がゾーンごとに集積している、南北を河川に挟まれた地形であるという中之島の特性を活かし、中之島全体において、熱エネルギーのネットワーク化を推進する。





## 3-2

# 交通に関する取り組み内容

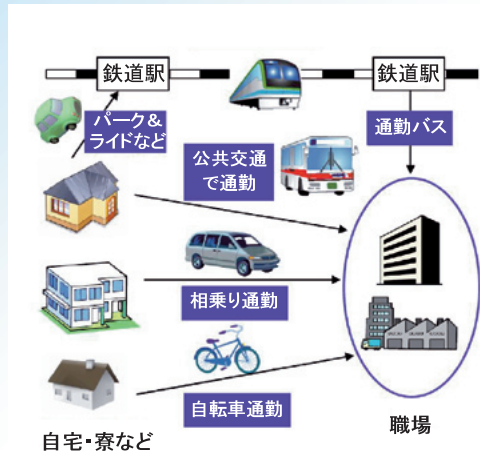
↳ 低炭素型の交通システムの構築

建物単位においては、個々の建物でエコ通勤を奨励するとともに、電気自動車の導入等を促進することにより低炭素交通への移行を図る。

### 建物単位での取り組み

#### エコ通勤の奨励

個々の建物でエコ通勤・エコ出張を促進し、自動車から公共交通や自転車・徒歩への利用転換を促進する。



エコ通勤のイメージ

(出典:土木学会・国土交通省、交通エコロジー・モビリティ財団資料)

公共交通・自転車・徒歩の利用促進

#### 個々の建物における電気自動車等の導入

個々の建物で電気自動車等のエコカーの導入を促進する。



電気自動車 (提供:関西電力)

低炭素交通の導入



街区単位においては、公共交通の利用促進をはじめ、自転車の共同利用システム（コミュニティサイクル）の導入、個々の建物が所有する電気自動車等のシェアリング（カーシェアリング）の導入を促進し、街区において効果的に低炭素交通への移行を図る。

中之島全体においては、中之島を東西方向に貫く京阪中之島線をはじめとする公共交通の利用を促進し、自動車（自家用車）中心の交通体系から、周辺地域と一体的となって低炭素交通への戦略的移行を図る。

街区単位での取組み

中之島全体での取組み

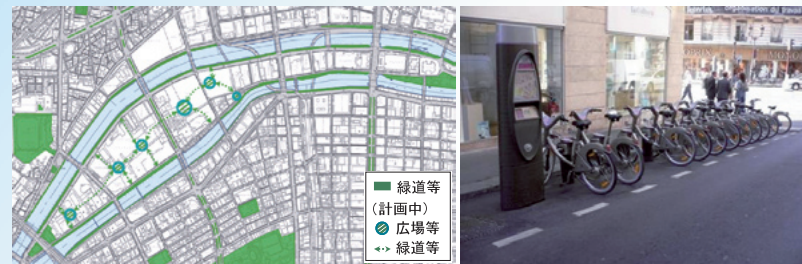
公共交通の利用促進

中之島線をはじめ公共交通の利用を促進することにより、自動車（自家用車）中心の交通体系から低炭素交通への移行を図る。



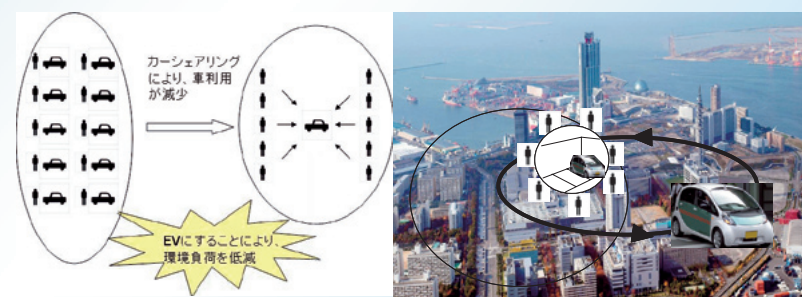
魅力的な歩行者空間等の創出、コミュニティサイクルの導入

遊歩道と接続する中央緑道等の整備を進めると共に、東西をネットワークする快適な歩行者空間等の整備を進める。所定のポートに乗り捨て可能な自転車共同利用システム（コミュニティサイクル）の導入を推進するため、街区単位でのポート設置を進め、その積極的な活用を行い、自動車から徒歩・自転車への利用転換を促進する。



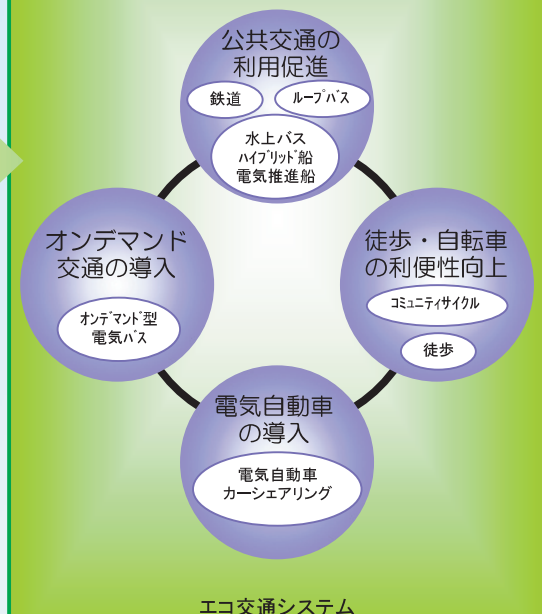
街区における電気自動車のシェアリング（カーシェアリング）

個々の建物が所有する電気自動車（EV）等のシェアリング（カーシェアリング）の導入を促進するため、街区単位での貸出場所の設置を進め、その積極的な活用を行い、低炭素交通への移行を図る。



～低炭素型の交通システムの構築～

環境にやさしい交通を組み合わせることでシステム化することにより、中之島周辺地域と一体的に、自動車（自家用車）中心の交通体系から、低炭素型交通への戦略的移行を図る。





### 3-3

## 緑・水に関する取組み内容

緑と水の豊かな空間形成によるクールシティの実現

建物単位においては、建物建設時には環境性評価を行いつつ、屋上・壁面・敷地内の緑化にミスト散布（噴霧）等を組み合わせて、ヒートアイランド現象の緩和を図るとともに、潤いのある空間の創出を図る。

### 建物単位での取組み

#### 緑

#### 建物単位での屋上・壁面・敷地内の緑化

屋上・壁面・敷地内の緑化を推進し、ヒートアイランド現象の緩和を図るとともに、潤いのある空間の創出を図る。



壁面緑化(梅田ダイビル)



屋上緑化(大阪市役所)



駐車場緑化(関電ビル)

#### 水

#### 建物単位でのドライ型ミスト散布、保水性建材の導入、打ち水の実施

ミスト散布の導入促進、保水性建材の導入、打ち水の実施により、ヒートアイランド現象の緩和を図る。



ドライ型ミスト散布(大阪市役所)

#### 建物単位での水辺空間・親水空間の創出

敷地内に水面を確保し、ヒートアイランド現象の緩和を図るとともに、潤いのある空間の創出を図る。



親水空間(国立国際美術館)



街区単位においては、低未利用地等の積極的な緑化や、歩道などにおける保水性舗装の導入、水辺空間・親水空間の創出によりヒートアイランド現象の緩和を図るとともに、潤いのあるまちの創出を図る。

中之島全体においては、緑のネットワーク化、水辺空間・親水空間の創出、そして緑と水のネットワークによる風の道を形成することにより、ヒートアイランド現象の緩和を図るとともに、魅力的な緑と水の豊かな空間形成を推進し、クールシティの実現を目指す。

### 街区単位での取り組み

#### 街区の一体的な緑化

低未利用地等の積極的な緑化を推進し、ヒートアイランド現象を緩和するとともに、都市の貴重な緑や憩いの空間の創出を図る。



ほたるまち



中之島公園



中之島3丁目共同開発北西広場(仮称)  
(提供:ダイビル・関西電力・関電不動産)

#### 歩道等における保水性舗装の導入、大規模ミスト散布や打ち水の実施

歩道や公開空地等への保水性舗装の導入、建物上部からの大規模ミスト散布や打ち水の実施により、ヒートアイランド現象の緩和を推進する。



建物上部からのミスト散布イメージ  
(提供:大阪市)



保水性舗装(中之島通)  
(提供:中之島通)

#### 水辺空間・親水空間の創出

街区単位・中之島全体で、水辺空間・親水空間を創出し、ヒートアイランド現象の緩和を図るとともに、親水性があり潤いのあるまちの創出を図る。



八軒家浜親水空間(緑道・船着場等)(提供:大阪府)



中之島公園の噴水(提供:大阪水上バス)

### 中之島全体での取り組み

～緑と水の豊かな空間形成によるクールシティの実現～

#### 中之島全体での総合的な緑化、緑道などによる緑のネットワーク化

建物、敷地、駐車場、護岸など総合的に緑化を行うとともに、遊歩道・緑道等によりネットワークし、中之島全体に魅力ある緑の空間を形成する。



遊歩道  
(中之島公園)



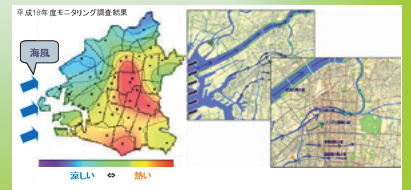
スーパー堤防事業と親水空間  
(提供:大阪府)



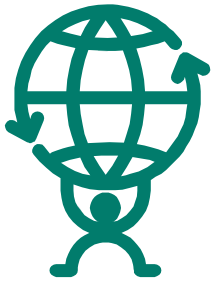
護岸緑化(土佐堀川)

#### 緑と水のネットワークによる風の道の形成

海からの風の通り道である中之島という立地特性を活かし、緑と水のネットワークによる風の道を創出することで、ヒートアイランド現象のさらなる緩和を図る。



ヒートアイランド現象の緩和策として有効な海風の活用  
(出典:大阪市資料)



### 3-4

# ライフスタイルに関する取組み内容

環境まちづくりの実践の場づくり

## 建物単位での取組み

### ゴミの減量化・リサイクル

#### ごみの減量化やリサイクル等の推進

ごみの減量化やリサイクルの推進を図り、建物単位で3R (Reduce、Reuse、Recycle) を促進する。



ごみ分別ボックス



ごみ分別収集ステーション  
(関電ビル)

### 啓発活動

#### 環境意識の醸成と環境に配慮したライフスタイルの提案

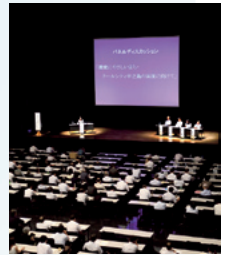
官民協働による環境取組みである打ち水・橋洗い等の実施に始まり、親水空間を設定、グリーン配送の採用、エコドライブの実施といった活動等を通して、環境



大阪打ち水大作戦



橋洗い  
(中之島ガーデンブリッジ)



大阪・環境のまちづくり  
シンポジウム

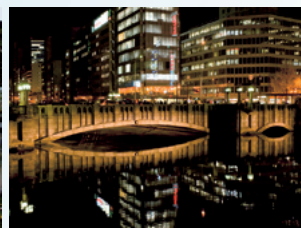
### 感覚環境

#### 感覚環境の整備と中之島の歴史・文化・環境活動等の情報発信

川を生かした景観整備や光による夜間景観の演出など、五感で周辺環境を感じる中之島の歴史的価値・文化的価値・環境活動等の情報発信を通じ、中之島を訪れ



景観整備(中之島公園)



橋梁ライトアップ(淀屋橋)



建物ライトアップ  
(大阪市中央公会堂)

(提供: 中之島まちみらい協議会)



建物単位・街区単位・中之島全体において、一人ひとりからの環境意識向上を図るため、ごみの減量化やリサイクル等の推進、中之島の環境（自然・歴史等）を活かした啓発活動、五感で周辺環境を感じる「感覚環境」との関係性を密にした施設整備やイベントの展開など、中之島における環境まちづくりの実践の場づくりを通じて、環境に配慮したライフスタイルを創り上げていく。

### 街区単位での取組み

ごみの減量化やリサイクルの推進、環境情報の発信等による環境にやさしいライフスタイルへの転換を促すごみの分別を推進すると共に、まちにあふれる廃棄物の現状や問題について、体験し、楽しみながら理解できるような工夫や環境活動の情報発信等を行い、環境に配慮したまちづくりの場を創出する。



ごみ分別収集ステーション



環境活動の情報発信

(提供: 水都大阪 2009 実行委員会)



### 中之島全体での取組み

活用したイベント、ライトダウンといったイベントや、日常的なノー残業デーの意識の醸成と環境に配慮したライフスタイルの提案を行う。



おおさかライトダウン(大阪市中央公会堂)  
(提供: 大阪市)



環境教育(勉強会・施設見学会等)  
(提供: 関西電力)

「感覚環境」を整備するとともに、たくなるような魅力の向上を図る。



ウインドウアート  
(提供: 三井不動産)



OSAKA光のルネサンス  
(提供: OSAKA 光のルネサンス実行委員会)

### ～環境まちづくりの 実践の場づくり～

環境に配慮した催しや情報発信を一過性のものとせず常に何かの活動が行なわれているようにすると共に、ポイントとなるイベント等を効果的に組み合わせることで、実践の場の提供、まちのイメージアップを図る。





## 3-5

# マネジメントに関する取り組み内容

環境に配慮したマネジメントシステムづくり

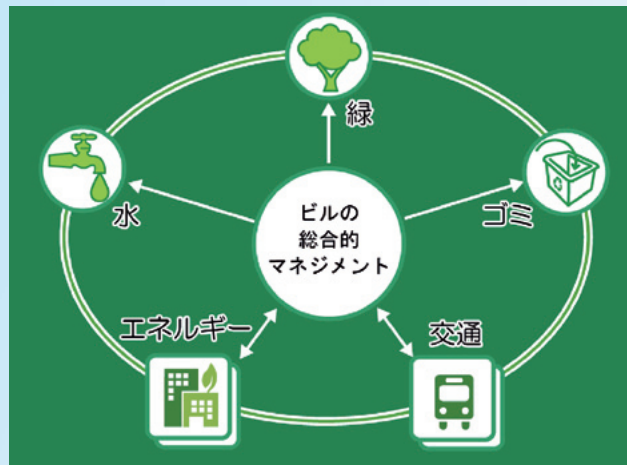
### マネジメントシステムの構築

建物単位で、ビル運用にかかる総合的なマネジメントを行うとともに、エネルギー・マネジメントシステム（BEMS）の導入等により、省エネ・省CO<sub>2</sub>を推進する。

### 建物単位での取り組み

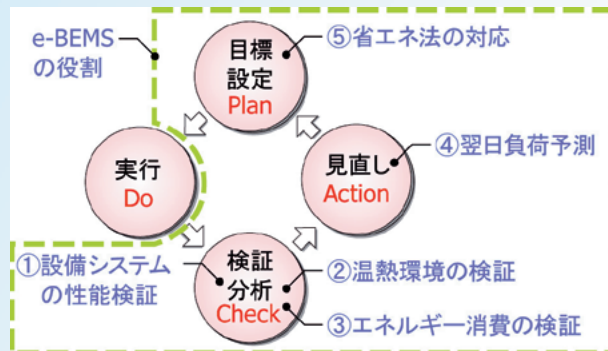
#### ビル運用マネジメント

建物単位で、その運用を単なる維持管理にとどめることなく、エネルギー、交通、緑、水、ゴミ、利用者の生活といったビルに関する総合的なマネジメントを行う。



#### ビルエネルギー・マネジメントシステム（BEMS）の導入

ビルエネルギー・マネジメントシステム（BEMS）を導入し、指標として省エネにとどまらず省CO<sub>2</sub>の観点からも評価し、省エネ・省CO<sub>2</sub>を推進する。



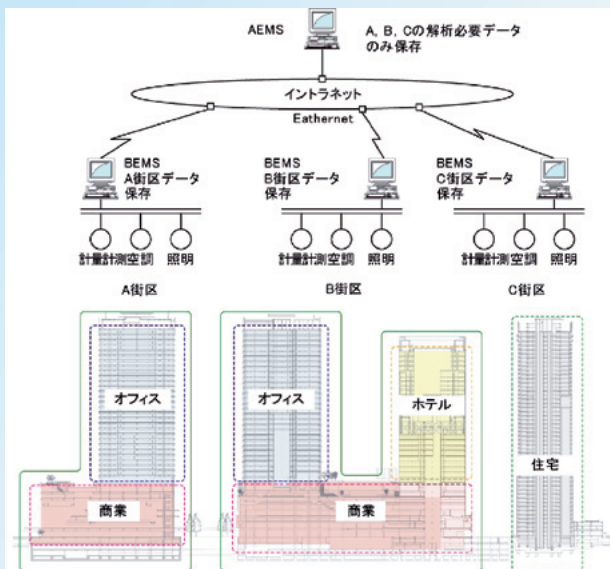
BEMS  
(出典: 関西電力)

街区単位・中之島全体で、環境をマネジメントするためのプラットフォームとなる組織づくりを行う。また、マネジメントシステムとしては、タウンエネルギーマネジメントシステム（TEMS）の構築及び、PDCAサイクルを確立した取組みを実施していく。

### 街区単位での取組み

#### 街区でのエネルギーマネジメント

地域冷暖房、熱融通をはじめとしたエネルギーのネットワーク化を推進すると同時に、そのエネルギー供給側・需要側が一体となり、利用者の生活まで考慮したエネルギーマネジメントを行う。

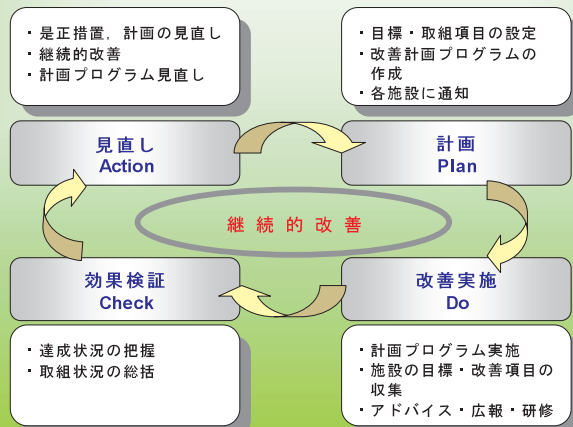
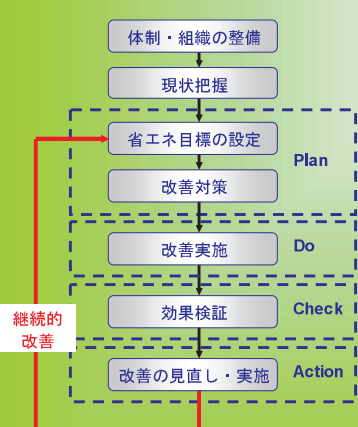
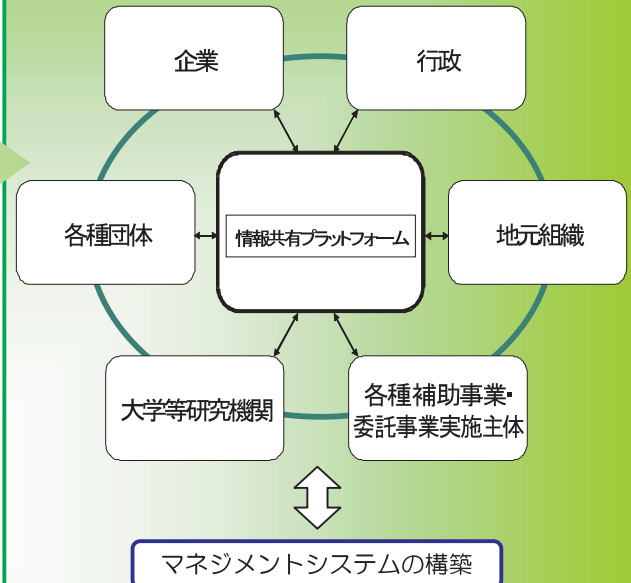


### 中之島全体での取組み

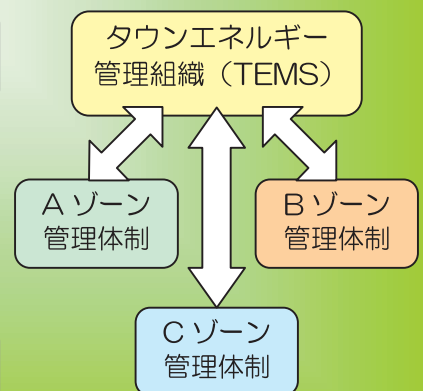
～環境に配慮したマネジメントシステムづくり～

#### プラットフォームとなる組織づくり

中之島全体を考えるためにプラットフォームとなる組織づくりを行う。  
将来的なタウンエネルギーマネジメントシステム（TEMS）構築も意識する。



PDCAサイクル



TEMS

## 4. 環境まちづくりにより期待される効果

### 中之島における環境まちづくり

#### ●エネルギー●

##### 省エネ・省CO<sub>2</sub>

- 高効率機器の導入
- 面的エネルギー利用

##### 再生可能エネルギーの活用

- 太陽光・風力(自然エネルギー)の活用
- 河川水熱(未利用エネルギー)の利用

低炭素エネルギー  
活用都市の実現

#### ●交通●

##### 公共交通・自転車・徒歩の利用促進

- エコ通勤の奨励
- 公共交通の利用促進
- 魅力的な歩行者空間等の創出
- コミュニティサイクルの導入

##### 低炭素交通の導入

- 電気自動車等の導入
- 電気自動車のシェアリング(カーシェアリング)

低炭素型の交通  
システムの構築

#### ●緑・水●

##### 緑

- 屋上・壁面・敷地内の緑化
- 街区の一体的な緑化
- 緑のネットワーク化

##### 水

- ミスト散布(噴霧)
- 保水性建材、保水性舗装の導入
- 水辺空間・親水空間の創出
- 風の道の形成

緑と水の豊かな  
空間形成による  
クールシティの実現

#### ●ライフスタイル●

##### ごみの減量化・リサイクル

- ごみの減量化やリサイクル等の推進

##### 啓発活動

- 環境意識の醸成と環境に配慮したライフスタイルの提案

##### 感覚環境

- 感覚環境の整備と中之島の歴史・文化・環境活動等の情報発信

環境まちづくりの  
実践の場づくり

#### ●マネジメント●

##### マネジメントシステムの構築

- ビル運用マネジメント
- ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)の導入
- 街区でのエネルギーマネジメント
- プラットフォームとなる組織づくり(TEMS、PDCAサイクル)

環境に配慮した  
マネジメントシステム  
づくり



## 期待される効果

開発促進  
高度利用

- ・高質な都市空間の創出等による資産価値向上
- ・地域経済の活性化

環境対策

ヒートアイランド  
現象緩和

CO<sub>2</sub> 排出量削減

- ・ヒートアイランド現象の緩和
- ・都市の低炭素化(CO<sub>2</sub> 排出量の削減)
- ・省エネ・省CO<sub>2</sub>、創エネによるコスト縮減

交通利便性・  
回遊性の向上

- ・集客力・利用者の増大
- ・地域モビリティの確保
- ・交通安全性の向上

景観形成  
(緑・水・光)

- ・QOL の向上
- ・生活満足度の向上
- ・心身の健康への寄与
- ・水・土・空気等の環境改善
- ・生物多様性の確保

環境意識の  
高揚

- ・地域力・社会関係資本の醸成
- ・環境教育の活発化
- ・社会イベントへの参加率の向上
- ・ゴミの減量化
- ・感覚環境の改善

取組み全体  
情報発信

- ・中之島のイメージアップ
- ・中之島の関係者(産・学・官・民すべて)のイメージアップ
- ・中之島ブランドの確立
- ・先進モデルとしての関西・日本さらには国際社会への貢献

エコスクエア  
中之島eco2連絡協議会は、中之島地区および周辺地域の産・学・官・民すべてがコミュニケーションを密にしながら一体となって、「元気あるまちづくり」と共に、「環境にやさしいまちづくり」を目指して意識を共有し、様々な対策に先導的に取り組み、さらに環境対策に関する情報発信などにより、他の地区もリードしていけるような活動を行うことを目指すプラットフォームです。

エコスクエア  
＜連絡先＞ 中之島eco2連絡協議会 事務局

関西電力株式会社 地域共生・広報室 都市再生プロジェクトチーム  
〒530-8270 大阪市北区中之島3丁目6番16号  
TEL: 06-6441-8821 FAX: 06-6441-2976